令和８（２０２６）年度

# 学校経営方針

西宮市立鳴尾東小学校
校長　高村　英志

＜学校教育目標＞

「やさしさ、つよさ、かしこさ」を育む

めざす学校像

○一人一人の学びを確かなものにし、子供の育ちに責任を持つ学校
○共に学び、共に育つ喜びと感動体験のある学校
○豊かな人間関係と心が通い合う学校
○家庭や地域社会とともに歩む学校

めざす教師像

○温かいまなざしで子供に教育的愛情を注ぐ教職員
○教育の理想をめざして研究実践に燃え、教育の専門的実践力を鍛える教職員
○協働意識を高め共に歩む教職員
○保護者や地域社会に信頼される教職員

《めざす子供像》

【やさしい子】
○さわやかな**あいさつ**ができる（学校・家庭・地域社会であいさつができる）
○友だちを**思いやり**、喜び、人の思いに**共感**できる

【つよい子】
○たくましく生きるための**健康と体力**
○**自主性・自立心**
○**ねばり強くやりぬく力**
○友だちの思惑によらず、**正しいことを実行できる精神**

【かしこい子】
○**基礎・基本**を身につける
○**学習習慣**を身につける
○自ら学び、自ら考え、**主体的**に判断し、よりよく**課題を解決する力**

〔学校経営の重点〕

一人一人の子供に、知・徳・体のバランスのとれた力を培うためには、研究、人権教育、生活指導などを有機的に関連させ、学校生活すべてが一つの方向性を持ったものになる取り組みが必要である。また、一人一人の子供の「学びに向かう力」を高めていくためには、認知能力とともに非認知能力を伸ばす機会として意図的に教育活動に取り組むことが必要である。

すべての子供たちが集団の中で居場所を感じ、安心かつ充実した学校生活を送れるよう、また、子供個々の教育的ニーズに的確に応える指導を提供できるよう、以下の３点に重点を置く。

① 「学級づくり」…「自尊感情」、「支持的風土」、「異なることを豊かさととらえる」

② 「授業づくり」…「個別最適な学び」（指導の個別化と学習の個性化）※タブレット端末の活用等
「協働的な学び」（探究的な学習や体験活動）　※教科、総合

③ 「家庭・地域との連携」…「コミュニティ・スクール」、「地域学習・教育資源の有効活用」
※環境(鳴尾いちご)、福祉、防災、平和、人権、地域の歴史、キャリア教育など